

菊池川学識者懇談会

菊池川水系河川整備計画【原案】の概要

平成23年3月9日

九州地方整備局 菊池川河川事務所

河川整備基本方針

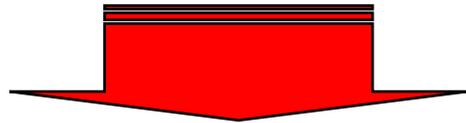
平成20年3月26日策定

将来目標とする治水安全度:1/100

○長期的な河川整備の基本的な方針を定めます。

(内容)

基本高水流量、計画高水流量、計画高水位・川幅、流水の正常な機能を維持するために必要な流量等



河川整備計画

30年程度で整備する目標:昭和57年7月洪水規模

○今後、概ね30年の間に段階的に進める河川整備の内容を定めます。

(内容)

河川整備(洪水対策、利水及び流水の正常な機能の維持、河川環境の整備と保全・河川利用等)、河川の維持管理 等

河川整備計画策定までの流れ

菊池川水系河川整備計画(原案)の公表(平成23年3月〇日)

学識者懇談会の開催

住民説明会の開催

アンケート

意見聴取箱

インターネット

多方面からの意見を収集

玉名会場: 3月24日(木) 19時～玉名市民会館第1会議室
和水会場: 3月23日(水) 19時～和水町中央公民館大会議室
山鹿会場: 3月25日(金) 19時～山鹿市中央公民館2F視聴覚室
菊池会場: 3月24日(木) 19時～菊池市役所本庁3F大会議室
植木会場: 3月17日(木) 19時半～植木公民館吉松分館
3月22日(火) 19時半～植木公民館田底分館

学識者懇談会の開催

菊池川水系河川整備計画(案)の公表

- ・県知事意見聴取(熊本県)
- ・関係機関協議
- ・他省庁協議

菊池川水系河川整備計画の策定・公表

今後の予定



河川整備計画の基本理念

～菊池川水系の川づくりの方向性～ 『菊池川のやすらぎと清流を未来へ』

治水

洪水から流域を守る川づくりと地域の防災力向上を目指します。

環境

菊池川らしい河川環境と良好な河川景観、水辺空間を保全・創出し、次世代へ引き継ぎます。

利水

限りある川の恵みを大切にしていきます。

歴史・文化

古くから流域住民の生活に密接していた菊池川流域の歴史・文化を継承していきます。

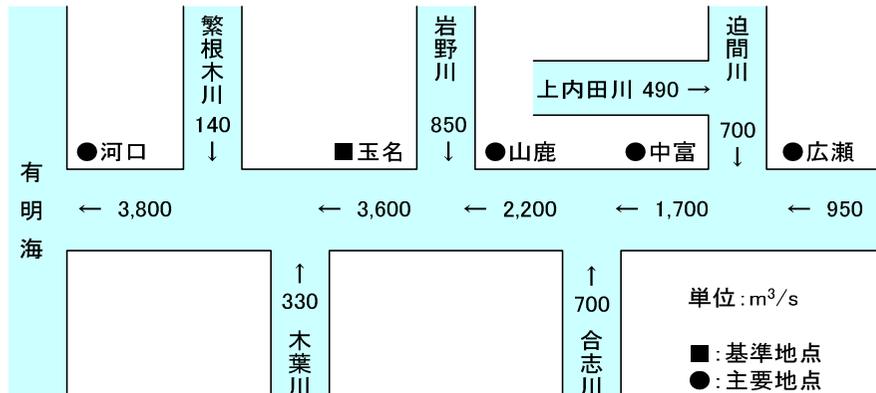
河川整備計画の対象区間

対象区間: 菊池川水系の国管理区間

河川整備計画の対象期間

対象期間: 概ね30年

※ただし、流域の社会情勢、自然環境、河道状況の変化により、必要に応じて計画の見直しを行います。

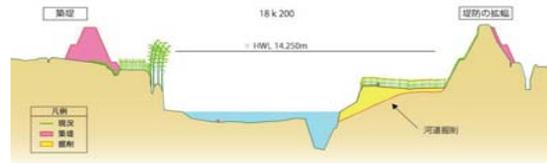


■治水

菊池川水系河川整備基本方針で定めた目標に向け、上下流の治水安全度のバランスを確保しつつ段階的かつ着実に整備を進め、昭和57年7月洪水等(戦後第2位)と同規模の洪水を、概ね安全に流下させる河川整備を目指します。

<整備メニュー>

- 堤防整備(築堤、堤防の嵩上げ・拡幅、引堤)
- 河道掘削・樹木伐開
- 橋梁の架替、堰の改築
- 内水対策
- 高潮対策
- 堤防強化対策



築堤及び河道掘削のイメージ

<維持管理>

洪水、高潮等による災害の防止または被害を最小限に抑えるため、堤防・護岸・水門・ダム等の河川管理施設や河道の堆積土砂、河床低下、樹林化に対して適切に管理します。



樹木繁茂状況



河川巡視の状況



竜門ダム湖内の塵芥処理状況

<ソフト対策>

洪水時における危機管理については、的確かつわかりやすい情報発信を目指し、自治体等との連携を強化します。

災害時においても迅速な災害復旧等が実施できるよう状況把握を迅速かつ的確に実施します。



マイハザードマップの作成



水防訓練

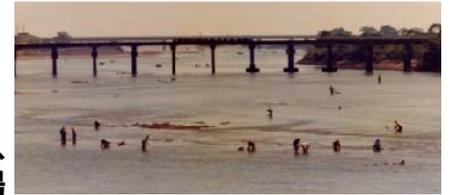


監視カメラ及び水位観測所

■環境

これまでの流域の人々と菊池川との歴史的・文化的な関わりを踏まえ、良好な河川景観の保全に努めます。

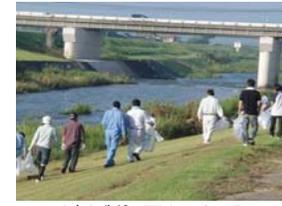
多様な動植物が生息・生育・繁殖する自然環境を保全・再生するとともに、住民の憩いの場や河川環境学習の場として地域に親しまれる河川空間を創出します。



シジミ採りの風景(昭和52年)



アユの産卵場(瀬)



地域住民による河川美化活動



子どもたちによる水生生物調査

■利水

取水実態等の変化を踏まえ、適正な水利用を目指します。

渇水等の被害を最小限に抑えるため、情報提供、情報伝達体制を整備し、水利用の調整が円滑に行われる取り組みを関係機関及び水利用者等と連携して推進します。



渇水連絡会の様子

■歴史・文化

「石はね」、「ハゼ並木」等の現在も受け継がれている歴史・文化を保全し、次世代に継承します。

既存の観光資源と連携しながら、新たな歴史・文化・観光が創出される川づくりを目指します。



石はね



地域と連携し施工した河川整備(山鹿市)



菊池川溪谷

基準地点：玉名

	河川整備基本方針 (100年に1回)	河川整備計画 (30年に1回)
基本高水の ピーク流量 (目標とする洪水の規模)	4,500m ³ /s	3,700m ³ /s
計画高水流量 (川で受け持つ流量)	3,800m ³ /s	3,600m ³ /s

■高潮堤防整備

○現状と課題

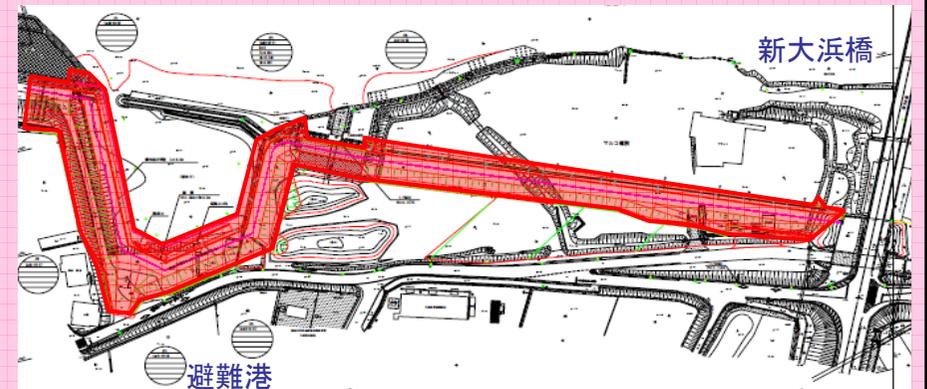
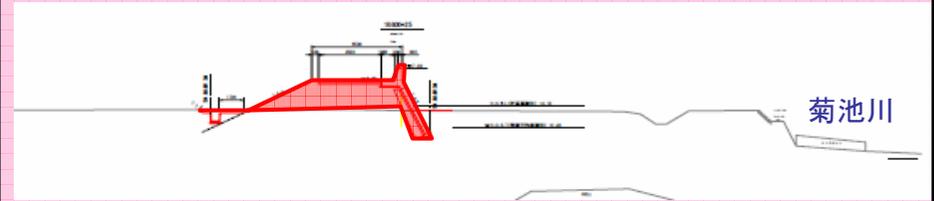
- ・高潮堤防の未整備箇所があり、越水はん濫による浸水被害の恐れがあります。

昭和60年8月台風 (佐賀県)



○対策

- ・高潮堤防の整備により、高潮被害の軽減を図ります。

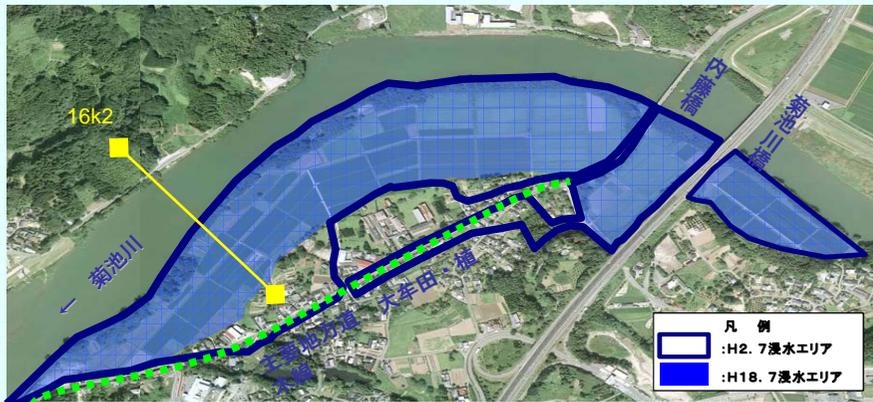


■堤防整備(大江田地区)

○現状と課題

- ・大江田地区は堤防未整備箇所であり、洪水の流下能力が不足しており、洪水はん濫の常襲地域です。
- ・洪水により河川の水位が上昇し、越水や破堤した場合、浸水の被害が拡大します。

H2.7出水
家屋浸水48戸



○対策

- ・築堤により、河川の流下断面積を確保し、洪水の流下能力を向上させます。

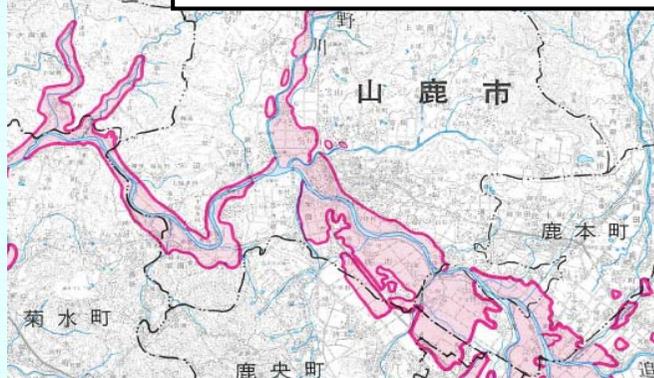


■河道掘削

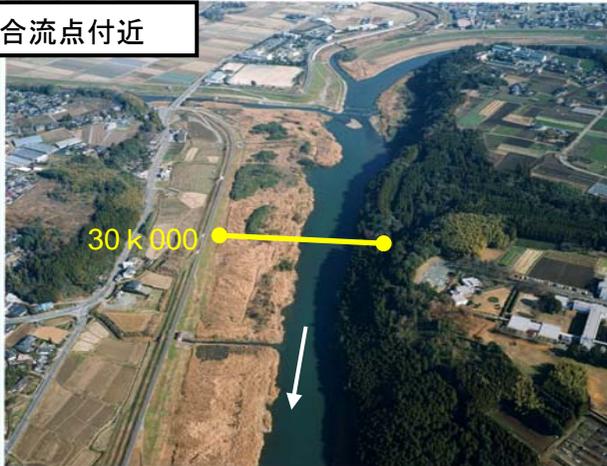
○現状と課題

- ・河道内の堆積土砂は、洪水の流下を著しく阻害し、河川の水位を上昇させます。

昭和57年7月洪水実績浸水範囲

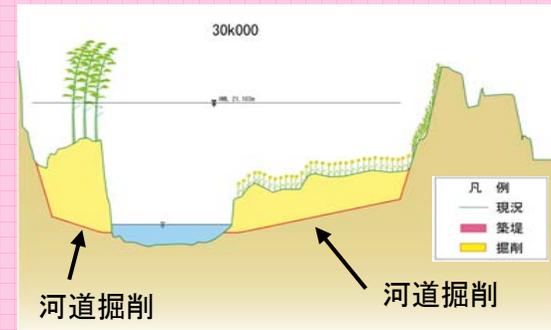


岩野川合流点付近



○対策

- ・河道内の掘削により、河川の流下断面積を拡大し、洪水の流下能力を向上させるとともに、山鹿市街部の安全度を向上させます。



岩野川合流点付近 (現在施工中)



■樹木伐開

○現状と課題

- ・河道内の樹木群は、洪水の流下を著しく阻害し、河川の水位を上昇させます。

平成21年6月洪水



○対策

- ・河道内の樹木群は、河岸や周辺環境への影響がない範囲で段階的に伐採し、洪水の流下能力を向上させます。

対策前



対策後



■堰・橋梁改築(平島堰・舟島橋)

○現状と課題

- ・平島堰は固定堰であり、洪水の流下を著しく阻害し、河川の水位を上昇させます。
- ・舟島橋は、河道断面不足のため、洪水の流下を著しく阻害し、河川の水位を上昇させます。



平成22年7月洪水 (平島堰)



○対策

- ・堰、橋梁の改築により、河川の流下断面面積を確保し、洪水の流下能力を向上させます。



■災害対応(迫間川袈裟尾地区)

○現状と課題

- ・迫間川の袈裟尾地区では、平成21年6月洪水により堤防侵食被害が発生しました。



○対策

- ・災害が発生した場合は、速やかに災害復旧を実施します。

応急復旧 (平成21年度)



本復旧 (現在施工中)

